

## (716) インコネルX750の耐食性と粒界近傍の微細組織

東京芝浦電気(株) 重電技術研究所

○服 部 和 治

総合研究所

小 松 周 一

原子力技術研究所

中 東 重 雄

原子力事業本部

金 子 正

## 1. 緒 言

インコネルX750材は高温強度を有しており、耐熱材料としてガスタービン・ジェットエンジンの部品として使用されているが、強度も高く、耐食性にも優れているため、軽水炉においてもバネ材・ピッキン材として使用されている。本報は特に高温水中における耐SCC性と粒界近傍のCr濃度分布について調べた。

## 2. 試験方法

供試材はTable 1に示す化学成分の熱間鍛造材に次の3条件の熱処理を施した。(a) 1150°C/1h + 704°C/20h  
(b) 1100°C/1h + 704°C/20h, (c) 950°C/1h + 704°C/20h

これらの熱処理材について(1)粒界腐食試験[Modified G-28試験, 50% H<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>(600CC)+Fe<sub>2</sub>(SO<sub>4</sub>)<sub>3</sub>(50g)](2)高温水中SCC試験[SSRT試験;  $\dot{\epsilon} = 8.3 \times 10^{-7}$  Sec<sup>-1</sup>, 15%で中断CBB試験;  $\epsilon = 1\%$ , 500時間](3)微細組織観察[200kV TEM, EDX]を行なった。

## 3. 試験結果

(1)粒界腐食試験において、固溶化温度が高くなるに従って重量減は多く、粒界侵食深さは大きくなっている。(2)高温水中におけるSCC試験において、(c)材はSSRT試験およびCBB試験の結果、明らかにIGSCCを示している。又、(a)材はCBB試験で浅いIGSCC割れが、SSRT試験では粒界に大きな割れが観察される。一方、(b)材はCBB試験の結果、全くSCCを生じなかった。SSRT試験では表面加工キズを起点とした浅い割れが見られるが、(b)材は高温水中耐SCC性に優れていると考えられる。(Table 2) (3)TEMにより各熱処理材の結晶粒界の炭化物の析出状態を観察した結果、(a)材は大きな炭化物、(b)材は微粒な炭化物が連続的に析出(c)材は微粒な炭化物が不連続に析出しているのが、観察された。各熱処理材の粒界近傍のCr濃度を測定した結果いずれの熱処理材もマトリックスのCr濃度と比較して若干低下し11~13%を示した。その一例をFig.1に示す。

(a), (b), (c)いずれの熱処理材も粒界のCr濃度はマトリックスに比べて低いが、インコネル600で報告されているような低いCr濃度ではなく、又(a)材(c)材はSCCを生じているが、(b)材は全くSCCを生じていないため、インコネルX750の高温水中SCC感受性はオーステナイトステンレス鋼で言われているCr欠乏説では説明できない。粒界腐食試験結果とCr分布の間には相関性が認められた。

SSRT…低歪速度引張試験, IGSCC…粒界型応力腐食割れ

Table 1 Chemical Composition of Hot Forged Inconel X750 Bar

	C	Mn	Si	S	Cr	Ni	Co	Nb	Ti	Al	Fe	Cu
Heat no.	≤0.08	≤1.00	≤0.50	≤0.01	14.00 17.00	≥7.00 ≤1.00	≤1.00	0.70 1.20	2.25 2.75	0.40 1.00	5.00 9.00	≤0.50
N-5090	0.058	0.72	0.30	0.009	15.52	7.24	0.005	0.72	2.41	0.77	6.75	0.003

Table 2 SCC Test Results

	C B B		Max. Crack Depth	SEM
	a <sub>max</sub>	ā		
1150°C/1h +704°C/20h	135 μm	75 μm	93 μm	
1100°C/1h +704°C/20h	0 μm	0 μm	42 μm	
950°C/1h +704°C/20h	1675 μm	993 μm	9.8% Fall IGSCC 13%	

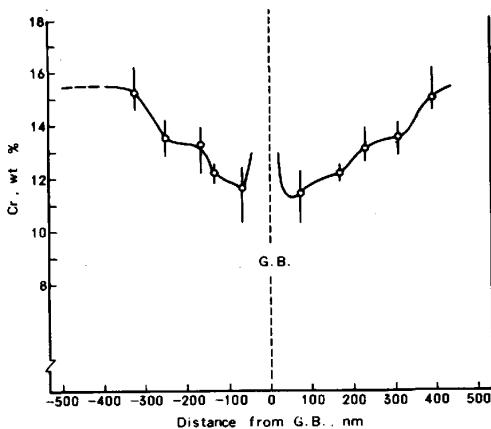


Fig.1 Cr concentration profile near G.B. in Inconel X-750(1100°C/1h+704°C/20h)